

● Letter to the Editor

COPD 治療における SABA アシストユースの問題点

寺本 信嗣

キーワード：慢性閉塞性肺疾患，長時間作用性 β_2 刺激薬，長時間作用性ムスカリン受容体拮抗薬，短時間作用性 β_2 刺激薬，アシストユース
Chronic obstructive pulmonary disease (COPD), Long-acting beta-2 agonist (LABA),
Long-acting muscarinic antagonist (LAMA), Short-acting beta-2 agonist (SABA), Assist use

編集委員長殿

COPD 治療の進歩によって，多くの吸入剤が使用可能となったが，未解決の問題も多い。狩野らの論文は，短時間作用性 β_2 刺激薬 (short-acting beta-2 agonist : SABA) アシストユースの効果がベースの定期吸入薬によって異なる可能性を示した重要な成果だ¹⁾。しかし，いくつかの問題が指摘される。第一に，長時間作用性 β_2 刺激薬 (long-acting beta-2 agonist : LABA) 使用時の SABA 併用は本来アシストユースではない。アシストユース自体が，日本での造語のため，世界基準はないが，長時間作用性ムスカリン受容体拮抗薬 (long-acting muscarinic antagonist : LAMA) に SABA を併用する方法がアシストユースとして合理的である²⁾。LAMA の臨床効果に付加価値をもたらす SABA の追加作用が注目された。第二に LABA が使用されている場合， β_2 受容体に対する効果は重複するため，SABA 使用に大きなメリットがあるとは考えにくい。第三に，この日本で生まれたやり方は，世界基準での evidence-based medicine (EBM) ではなく，一般化しにくいのが現状である³⁾。狩野らが指摘するように，LABA 使用時のみならず，LAMA 使用時の SABA の使い方とその意義についても今後一層の検証が必要である。

著者の COI (conflicts of interest) 開示：寺本 信嗣；講演料 (日本ベーリンガーインゲルハイム，アストラゼネカ，ノバルティス ファーマ)。他は本論文発表内容に関して申告なし。

引用文献

- 1) 狩野裕久，他. COPD患者に対する SABA アシストユースの効果は LABA の有無により異なる. 日呼吸会誌 2019 ; 8 : 229-34.
- 2) Kitaguchi Y, et al. Additive efficacy of short-acting bronchodilators on dynamic hyperinflation and exercise tolerance in stable COPD patients treated with long-acting bronchodilators. *Respir Med* 2013; 107: 394-400.
- 3) Hirano T, et al. Combination of assist use of short-acting beta-2 agonists inhalation and guidance based on patient-specific restrictions in daily behavior: impact on physical activity of Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease. *Respir Investig* 2019; 57: 133-9.

連絡先：寺本 信嗣

〒193-0998 東京都八王子市館町 1163

東京医科大学八王子医療センター呼吸器内科

(E-mail: shinjit-ky@umin.ac.jp)

(Received 8 Mar 2020/Accepted 19 Mar 2020)

Response to Letter to the Editor

LABA 使用患者に対する SABA アシストユース

狩野 裕久^a 白木 晶^b 安藤 守秀^c

我々の論文を読んでいただき、貴重なご指摘をいただきありがとうございます。一点目についてご指摘のように SABA アシストユースは LAMA に SABA を追加吸入する方法で提唱されたものですので、LAMA 単剤治療症例においてはお勧めしてよいであろうと考えます。

二点目について、ご指摘のように β_2 受容体に対する効果が重複するため、LABA を定期吸入している症例では SABA アシストユースの効果が乏しいのではないかと我々も考え、今回の研究を計画しました。残念ながら単施設での検討で症例数も少なかったため、今回の研究では期待した結果は得られませんでした。そのような傾向は示せたのではないかと考えます¹⁾。一方で、COPD に対して LABA の使用頻度は増していると考えられ、SABA アシストユースに関する報告のいくつか²⁾³⁾でも、LABA を定期吸入している症例が含まれています。十分な気管支拡張薬を使用しても呼吸困難が残存し、そのために身体活動性が低下しているような症例に対しては、さらなる一手としてアシストユースの出番があるのではないかと考えます。

ご指摘いただいた三点目、SABA アシストユースの有効性に関する大規模臨床試験はなく、一般化が難しいとのご意見に賛同いたします。さらに、薬剤の添付文書においても慢性気管支炎、肺気腫に関しては使用法が明記されていないことは論点かと考えます。SABA アシストユースという使用法について、今後も検証を重ねていく必要があると考えます。

著者の COI (conflicts of interest) 開示：本論文発表内容に関して申告なし。

引用文献

- 1) 狩野裕久, 他. COPD 患者に対する SABA アシストユースの効果は LABA の有無により異なる. 日呼吸会誌 2019; 8: 229-34.
- 2) Kitaguchi Y, et al. Additive efficacy of short-acting bronchodilators on dynamic hyperinflation and exercise tolerance in stable COPD patients treated with long-acting bronchodilators. *Respir Med* 2013; 107: 394-400.
- 3) Hirano T, et al. Combination of assist use of short-acting beta-2 agonists inhalation and guidance based on patient-specific restrictions in daily behavior: impact on physical activity of Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease. *Respir Investig* 2019; 57: 133-9.

連絡先：狩野 裕久

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

^a 岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科

^b しらき内科クリニック

^c 大垣市民病院呼吸器内科

(E-mail: kotobukikaho.hiro@gmail.com)

(Received 8 Mar 2020/Accepted 19 Mar 2020)